

区の警察博物館であった。仲教授は被害児童の正確な証言を引き出す手法などを話した。

講演会は警視庁の主催。捜査員や検察官のほか、一般の来館者も参加した。

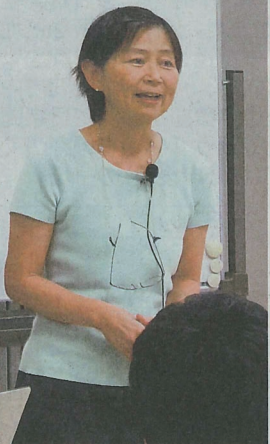
仲教授は警察庁の「被害児童からの客観的聴取技法に関する研究会」座長。被害児童の調書の信用性に疑問があるとして無罪判決が出た事件に触れ、「子供は親や教師や警察官など多くの人から同じ質問を繰り返されることで、記憶があいまいになることもある。大人とは違う配慮が必要」と指摘した。

イギリスで使われている具体的な手法を紹介し、「子供は誘導されやすい。イエス、ノーで回答させるのではなく『何があったか話して』と自由報告をさせてほしい」などと語った。【黒田阿紗子】

## 被害児童の正確な証言引き出すには

仲教授が講演

虐待事件などの被害児童の実態に詳しい仲真紀子・北海道大学院教授（発達心理学）の講演会が21日、中央



講演する仲真紀子教授＝中央区の警察博物館で